

4. 成績評価

大学の成績評価と単位認定は、各学部の履修規程に基づいて行っており、その評価基準は授業科目ごとにシラバスに公表している。進級判定は各学年末に行われ、所定の基準を満たす者の進級を認めている。また、歯学部及び心理科学部(言語聴覚療法学科)では最終学年に卒業試験を実施しており、所定の単位を修得して卒業試験に合格することで卒業要件を満たすことができる。また、看護福祉学部は、最終学年の試験の結果、所定の授業科目を修得した者に卒業を認めている。

(1)成績評価・単位認定

授業科目の成績評価や単位認定は各学部の履修規程に基づいて行い、授業科目の具体的な評価方法は、授業科目ごとにシラバスに示している。

成績評価は、試験(又はレポート)の評価を中心に行われているが、受講態度や出席状況等の平常点が加味されることもあり、その判断は単位認定者に委ねられている。中間試験や毎回小テストを行う科目もある。

評点が60点以上の場合に単位を認定し、60点以上70点未満が「可」、70点以上80点未満が「良」、80点以上は「優」の評価となる。評点が60点に満たない場合は不合格「不可」となり、所定の手続きを経ることで再試験受験の機会を得られるが、再試験においては合格しても評価は「可」となる。